

1. 件名「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所NSRR原子炉施設に係る行政相談」

2. 日時：令和2年9月29日（火）10時30分～11時00分

3. 場所：（1）原子力規制庁10階南会議室

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所

※：本ヒアリングは、テレビ会議にて実施

4. 出席者

（1）原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

加藤管理官補佐、塩川上席安全審査官

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

研究炉加速器技術部 担当者2名

安全・核セキュリティ推進室 担当者1名

5. 議事要旨

（1） 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、計測制御系統施設（認可済）の一部であるパルス自動運転制御系の更新に係る設工認申請の要否について、資料1に基づき主に以下の説明があった。

- ・ 計測制御系統施設は施設定期検査対象の設備であり、現状問題ないことを確認しているが、設備の設置から20年経過したため、高経年化の観点で更新を計画している。
- ・ 更新対象は、計測制御系統施設の一部であるパルス自動運転制御系の構成品のパネルパソコン、シーケンサ及び信号伝送装置であり、一般産業用工業品ではあるが、施設の用途に応じてシーケンサにプログラム入力が必要になる。
- ・ 更新対象とする設備は、既認可の内容と同様であり、設計及び工事の方法に変更はなく、設工認申請は不要と考えているが、この考え方が正しいかについて確認したい。

（2） 原子力規制庁から、確認のうえ回答する旨を伝えた。

（3） 原子力機構から了解した旨回答があった。

6. 配付資料

資料1 計測制御系統施設の一部設備更新に係る設工認申請の要否について